

第6学年A組 学級活動(2) 指導案

特別活動研究室

1 題材 「夢の実現に向かって歩こう」

2 題材設定の理由

(1) 題材について

本学年では、総合的な学習の時間でJAXA（宇宙航空研究開発機構）や九州大学からゲストティーチャーを招き、宇宙についての講話してもらったり、国際宇宙会議やニッセイ劇場見学などを行ったりして、社会で働く人や文化、芸術とふれあう機会を多くとっている。そして、社会に対しての関心をもち、自分と働くこととを結びつけはじめているこの時期に、夢や希望についての授業を行うことは、意義があると考えられる。

また、中学校で行われている総合的な学習の時間での職業体験や、特別活動での進路指導への橋渡しとしての役割を担い、夢の実現へつないでいくことが大切だと考え、本題材を設定した。

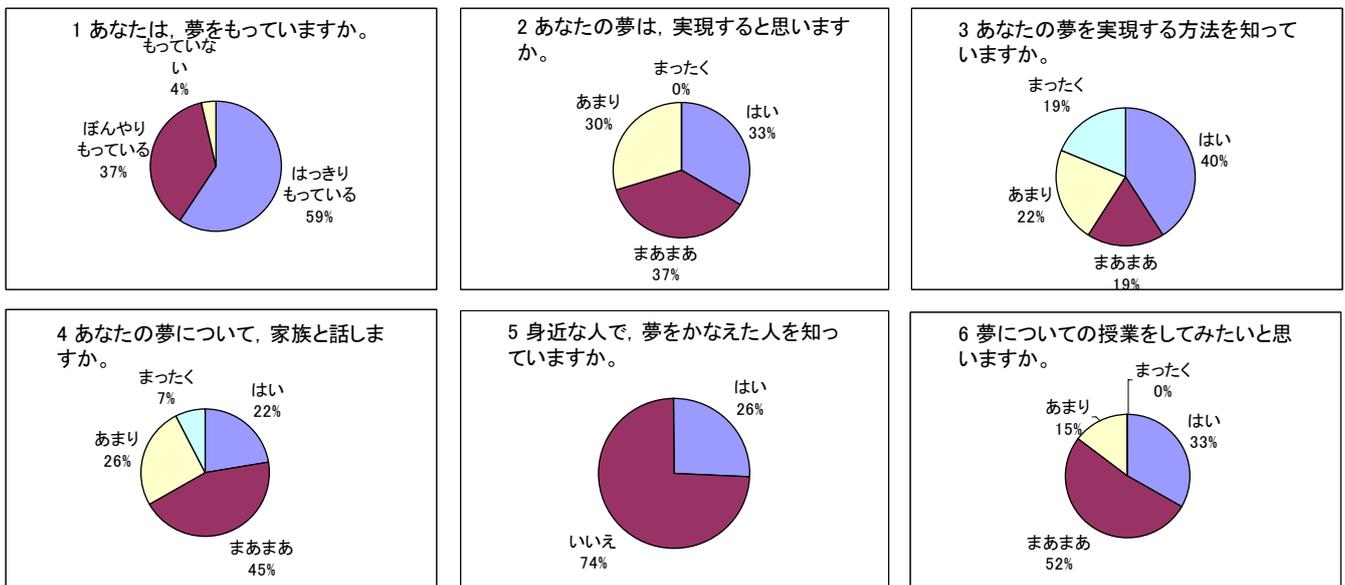
(2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく素直な児童が多い。総合的な学習の時間において、宇宙に関する講話を聞き、社会で働く人々と会話する中で、自分と社会とを結びつけ、どのようになりたいかという夢を少しずつもち始めている。

夢に関する事前アンケートでは、「夢をもっていますか。」という問いに対して、ほとんどの児童がもっていると回答している。また、夢の実現については、70%の児童が実現すると思うと回答しており、前向きにとらえていることがわかる。その反面、夢を実現する方法を、全くもしくはあまり知らないとの回答した児童が全体の40%を超えており、現実の自分の見つけ、夢に向かって歩き出している児童は少ないといえる。

こうした児童の実態から考えると、本題材によって夢をもち、その夢の実現に向かって歩こうとすることは、自分を大切にし、自分らしさがわかり、さらにそれを生かそうとすることへとつながり、小学校段階でのキャリア教育へとつながると考えられる。

夢に関する事前アンケート集計結果



(3) 指導にあたって

① 事前

本題材の指導にあたっては、夢に関するアンケートを実施し、児童が夢に対してどのようにとらえているかをつかむ。また、尊敬する人物（先人、身近な人）について調べさせ、その生き方について学ばせる。児童の考える夢は様々であるが、インターネットや本を利用して、職業についても調べさせる。

② 本時

本時の指導では、まず、事前に行ったアンケート結果を係の児童に発表させ、夢をもっている児童が多いことや、実現すると信じている児童が多いことに気づかせる。夢をもつことは素晴らしいと気づく反面、夢を実現することは非常に難しいということを共感させ、本時のめあてをつかませる。

次に、夢を追い続けるために必要なことを話し合い、自分のよさや、弱い点に気づかせる。そして、友だちの夢を実現するためのカードを読みアドバイスを書くことで、友だちの考える夢を知り、自分の自己決定への材料とする。

夢を実現するためのカードをもとに、これからの自分の生き方について自己決定させる。

③ 事後

夢を実現するためのカードをもとに、保護者や身近な人と話し、自分のもつ夢についてより確かなものへとさせる。それをもとに、自分の夢について考えていることや取り組んでいることをまとめ、発表会を開くことで、さらに多くの友だちへ、自分の夢を発信させる。

3 目標

- 興味のあることややってみたいことに目を向け、夢について考えようとするができるようにする。
- 友だちの夢を知り、そのよさに気づき、認め合う態度を育てる。
- 目標をもって努力することの大切さを知り、明日への希望をもち、意欲的に取り組むことができるようにする。

4 指導計画

(1) 事前の活動

児童の活動	教師の指導と援助	日時
(1) 「夢」についてのアンケートをする。	○ 児童自身のとらえた夢（職業かなえたいこと）について書かせる。	10月26日（水）
(2) 尊敬する人物（先人や身近な人）についての生き方調べをする	○ 先人の生き方について学びたいことや参考にしたいことをワークシートにまとめさせる。	10月27日（木）
(3) アンケート係が、アンケートの集計をし、まとめる。	○ パソコンを使って集計をさせる。	11月1日（火）
(4) インターネットや本などで、職業について調べる。	○ 「13才のハローワーク」「将来の仕事なりかた完全ガイド（キッズ goo）」などを利用する。	11月1日（火）
(5) 夢を実現するためのカードを書く。	○ 調べたことをもとに、よさを活かした夢についてまとめさせる。	11月1日（火）

5 本時 平成17年11月2日 第5校時 6年A組 教室

(1) 本時のねらい

- 友だちや自分の夢について関心を持ち、夢を実現するための新たな希望や目標に向かって歩もうとする意欲をもつことができる。
- 友だちの将来の夢について、アドバイスを書くことができる。
- 自分のよさを見つめ直し、これからの目標や生き方を考えることができる。

(2) 展開

児童の活動	教師の指導と援助	評価の観点
1 本時のめあてを確認する。 (1) アンケート係が、夢に関するアンケートの集計結果を発表する。 (2) 本時の学習のめあてを確認する。 めあて	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートの集計結果をグラフ化して、視覚的にとらえやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夢をもつことのすばらしさを感じることができたか。 ○ 一人一人が課題意識をもつことができたか。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 夢を実現するために、今、自分ができることを考えよう。 </div>		
2 夢を追い続けるために必要なことについて話し合う。 (1) 夢を追い続けるために必要なことを発表する。 (2) 今の自分はどれにあたるか考え、名前カードを黒板に貼る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に調べた先人や身近な人の生き方を考えさせる。 ○ 自分のプラスやマイナス面で、特に自分が感じていることに貼らせる。 	
3 お互いの夢実現カードを読みあい、アドバイスを書く。 (1) クラス全体で考える。 (2) グループで読み回し、アドバイスを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの良さを認め、賞賛できるように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちの夢を聞き、共感することができたか。
4 夢をさらに現実のものとするために、明日からの自分がどんなことを大切にし、実行していくかをカードに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今までの自分を振り返り、明日からのがんばりについて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夢を実現するために、明日からの生活に希望をもてたか。
5 自己決定したことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夢が実現することへの期待感を話す。 	

(3) 事後の活動

児童の活動	教師の指導と援助	日 時
(1) 夢を実現するためのカードをもとに保護者と話し合う。	○ 事前に学級通信で保護者に呼びかけておく。	11月4(金)
(2) 保護者と話し合った感想と、夢について、発表する。	○ 事前にスピーチ原稿を書き、練習させておく。	11月8日(火)

6 評価

- 互いの夢に興味をもち、認め合うことができたか。
- 生き方に興味をもち、これから取り組むことを自己決定することができたか。